

第4回高木レクチャーのご案内

「高木レクチャー」は世界的に卓越した数学者を講演者として招聘し、気概に満ちた研究総説講演を若手研究者・大学院生を含む専門分野を超えた数学者が聴くことにより、創造のインスピレーションを引き起こし、新たな数学の発展に寄与することを目指した企画です。

日本数学会と京都大学大学院理学研究科数学教室の共同で「第4回高木レクチャー」を開催しますので、ご案内申し上げます。

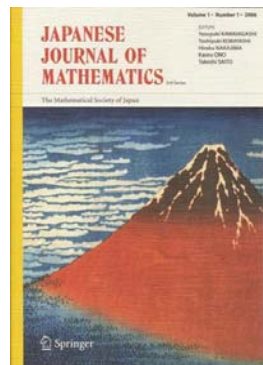
組織委員：小野 薫、河東泰之、小林俊行、斎藤 毅、中島 啓

記

日時：2008年6月21日（土）

場所：京都大学理学部6号館301号室

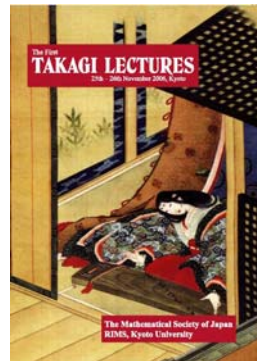
Home Page http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/ (日本語)
<http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi/> (English)



Japanese Journal of
Mathematics



高木貞治
(1875–1960)



高木レクチャー予稿集

プログラム

6月21日（土）

- 09:00--10:00 受付
- 10:00--10:05 Opening speech
- 10:05--11:05 大栗博司 (Caltech & IPMU)
Geomery as seen by string theory (I)
(弦理論から見た幾何学)
- 11:05--11:30 Coffee / Tea Break
- 11:30--12:30 Oleg Viro (Steklov Inst. & Stony Brook)
From the sixteenth Hilbert problem to Tropical Geometry (I)
A story of mystery, mistakes and solution
(ヒルベルト16問題からトロピカル幾何学へ
— 謎、誤りそして解決の物語)
- 12:30--14:00 Lunch Break
- 14:00--15:00 大栗博司 (Caltech & IPMU)
Geomery as seen by string theory (II)
(弦理論から見た幾何学)
- 15:20--16:20 Oleg Viro (Steklov Inst. & Stony Brook)
From the sixteenth Hilbert problem to Tropical Geometry (II)
Patchworking algebraic varieties and Tropical Geometry
(ヒルベルト16問題からトロピカル幾何学へ
— 代数多様体のパッチワークとトロピカル幾何学)
- 16:30--17:30 Workshop Closure with Drinks

社団法人日本数学会・京都大学大学院理学研究科数学教室共催